



Weekly Report

Engage Rotary Change Lives

ロータリーを实践しみんな豊かな人生を

2013-2014 年度 R.I.会長

ロン D.バートン

名古屋アイリスロータリークラブ
 例会日 毎週水曜日 13:00-14:00
 例会場 ANA クラウンプラザホテル
 グランコート名古屋
 創立 2013年6月5日
 会長 八神 基 幹事 荒山 久美

第36回例会 2014年3月19日 水曜日 晴れ

斉唱 「それこそロータリー」

出席者報告

例会	第36回(3/19)	第35回(3/13)	第34回(3/5)
会員数	34名	32名	32名
出席	25名	19名	24名
欠席	8名	13名	6名
Make Up	2名		2名
出席率	79.41%	59.38%	81.25%

ゲスト紹介

地区国際奉仕委員会より

本間 毅さん (岡崎南 RC)

名古屋北 RC 田嶋好博 PDG

名古屋北 RC 水野吉紹名誉会員

ニコボックス報告

ご寄付ありがとうございます<()>

水野名誉会員

新入会員おめでとうございます。

国際奉仕の卓話宜しくお申し上げます。

八神会長

本間さん、本日は宜しくお祈いします。

深見さん、沖さん、今日から仲間です。大歓迎！

安井副会長

八神会長よりゴルフ同好会の優勝カップを寄贈していただきました。1月は菊池君、3月は安井が優勝しました。

荒山幹事

幸せなホワイトデーでした。ありがとうございます。

藤森副幹事

深見さん、息子の車のお世話をありがとうございました。

綿貫奉仕 P 委員長

沖新会員を迎えて。

新会員の紹介

深見 和久さん (八神会長ご紹介)

株式会社 ITCS 代表取締役

沖 知也さん (綿貫奉仕 P 委員長ご紹介)

サンテン株式会社 経営企画室室長

数あるクラブの中で、アイリスにご入会いただき感謝です。設立後 8 ヶ月のアイリス自体も新入会員同然ですから、これから独自の特色を出していくクラブです。勉強になる例会、出席して一番楽しいクラブを目指していますので、一緒に活動して、クラブ奉仕、社会奉仕にご協力お願い致します。(幹事より)

本日の卓話

国際奉仕委員会卓話

「世界の識字率向上について」

地区国際奉仕委員 (岡崎南)

本間 毅 様

本日は識字率についてお話をさせていただきますが、日本国内では識字率についてあまり関心が

ないかもしれませんが、世界ではまだ重要なテーマです。

世界の識字率はアジアが圧倒的に低いという現状があります。つまり、非識字者の人数としては人口の多さからアジアの非識字者人口が大変に多いということです。

世界が抱える教育問題をネパールを例にとってみましょう。ネパールに住むハリジャンさんは今 46 歳で、学校にも通えず、12 歳で結婚し、16 歳で出産しました。そしてただ家事をこなすだけだった人生でした。そんな彼女が文字が読めない、書けない悲しさを感じ、寺子屋に通い始め、読み書きが出来るようになりました。この寺子屋の存在が他の多くの人々の人生を変えていきました。ネパールでは女性の 58% が非識字者です。

世界の人々が読み書きができないことには様々な理由があります。貧しい家庭の子供や孤児は家計を助けるために働かなければならなかったり、家事をてつだわなければならなかったりを理由に学校に通えません。2000 年以降 14 の国で小学校の授業料の無償化がなされ、生徒数も増加しましたが、まだまだ学校の数そのものが不足していたり、インフラが悪く学校まで何十キロもかかり、通学が困難という理由などもあります。途上国では男子の教育にはお金を掛けますが、学校に女子トイレがなかったり、幼くして結婚をするなどで、通学しなくなってしまう。そのため世界の非識字者の 3 分の 2 が女性です。多民族のため家で話す言葉と学校で教わる言葉が違うため、勉強についていけず通学をやめてしまう。他にも多くの理由がありますが、このような事実がありなかなか識字率 UP には繋がっていません。

教育を受けられない→読み書き、計算が出来ない→安定した職業に就けない→収入が少ない→このマイナスのスパイラルを断ち切る有効な方法の一つとして識字教育があります。R.I. 理事会は 1986 年、識字率向上を 10 年間の協調プログラムに設定しました。1997 年 7 月の理事会で毎年 7 月

を識字率向上月間と定め、2006 年度以降は 3 月に移行しました。「基本的教育と識字率向上」は R.I. の 6 重点分野のひとつとなっています。

識字の定義は 3 つあります。ひとつは「基本的識字」で、子母音を含むアルファベットなどをきちんと読めるということです。しかしそれだけで十分ではありません。ふたつめは「機能的識字」で、よく考える能力を備えた上で、読み書きができ、コミュニケーションが出来るというものです。例えば、新聞を単に読むことができることが基本的識字で、それを読んで何を考え、行動するかが機能的識字です。物事を判断する能力を備えていてコミュニケーションが出来ることを指します。先進国でもこれは問題になっていて、2700 万人が機能的非識字者でその 75% が職に就いていません。カナダでは機能的非識字者の 50% が失業者です。三つめは「コンピューター識字」で、コンピューター用語を理解し、使うことができるというものです。しかし、第二の「機能的識字」がなければ、コンピューターから得られた情報を的確に判断することが出来ません。

1980 年代にオーストラリアのアボリジニの英語教育のために開発した教育方式が、アリスプリング（オーストラリア北部）の学校に導入され成功を収めました。タイの農村地域でも同様にプログラムを実施し、1987 年にはロータリー財団がこの補助金プログラムを承認して公立の全校が導入しました。この他ラオス、ネパールでもこのプログラムは定着し、バングラデシュでも財団の支援により教育省が導入しました。

各クラブの皆様には日ごろから国際奉仕事業を行っていただいております。地区国際奉仕委員会では各クラブからの委員会費をお預かりして、まとまった奉仕活動に役立てています。今後も地区プロジェクトにご理解。協力をお願い致します。